
「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況 (2025年度)

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況

目次

1. お客さまの最善の利益の追求	P2～P4
------------------	-------

(1) ～ (4)

2. 利益相反の適切な管理	P 5
---------------	-----

(1) ～ (3)

3. 手数料等の明確化	P 6
-------------	-----

4. 重要な情報の分かりやすいご提供	P 7～P 8
--------------------	---------

(1) ～ (6)

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供	P 9～P 11
-----------------------	----------

(1) ～ (9)

6. 社員に対する適切な動機付けの枠組み等	P 12
-----------------------	------

(1) ～ (4)

7. プロダクトガバナンスに関する対応	P 12
---------------------	------

参考 投資信託ラインナップ・生命保険ラインナップ / 販売上位銘柄	P 13～P14
-----------------------------------	----------

共通KPI	P 15～P22
-------	----------

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況①

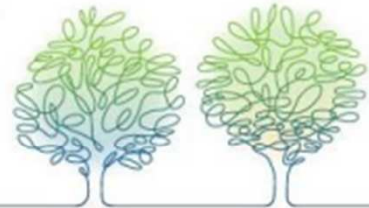
1. お客さまの最善の利益の追求

- (1) 『あってよかった、出会えてよかった、と思われる存在でありたい。』という企業理念の実現に向けて、お客さま視点に立ったサービスを追求してまいります。お客さまの人生に寄り添い、真に求められる価値と豊かな暮らしをご提供することで、お客さまや社会にとってかけがえのない存在となることを目指しております。

●企業理念

あってよかった、
出会えてよかった、
と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。



〈私たちの想い〉

私たちは、何よりもお客さまのことを考える銀行でありたい。

お客さまの声に真摯に耳を傾けて、スルガならではの付加価値を提供することで、お客さまから「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在を目指します。

お客さまに心から満足していただくためには、サービスを提供する社員がやりがいを感じていることが不可欠です。

お客さまからだけでなく、社員にとっても、「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在になりたい、という想いを込めています。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況②

- (2) 企業理念の実現に向けて、当社グループは全社員の行動規範として、『コンプライアンス憲章』を制定しております。
その中で、お客さまの声に真摯に耳を傾け、お客さまにとって最善の利益を考えた最適な商品・サービスをご提供することを宣言しております。

●コンプライアンス憲章

スルガ銀行グループは、「企業理念」の実現に向けて、社会において不可欠な存在となるよう全社員一丸となってコンプライアンス憲章を実践していくことを、ここに宣言いたします。
社会に多大な影響を与えた不祥事を教訓とし、二度と同じ過ちを起こさないようコンプライアンスを経営の最重要課題に掲げ、態勢の確立に努めてまいります。

【お客さま本位の業務運営】

お客さまの声に真摯に耳を傾け、お客さまにとって最善の利益を考えた最適な商品・サービスを提供します。
お客さまとの末永いお取引により信頼を確立し、適正な収益につなげる健全経営を実現します。

【誠実かつ公正で透明性のある企業活動】

お客さまや社会からの期待にお応えするため、法令やルールのみならず社会規範や銀行の公共性に鑑みた誠実な行動を徹底します。
問題の早期発見に努め、事実を正しく認識したうえで公正に情報開示を行ない、適切な判断に基づき対応します。

【健全な職場環境の確保】

ともに働く仲間やその家族を大切に想い、ハラスメントを排除し、すべての社員が安心して働ける環境をつくります。
立場の違いに関わらず、お互いを尊重し自由に意見を言い合える企業風土を醸成します。

【反社会的勢力との一切の関係遮断】

社会の秩序や人々の安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切の関係を遮断し、金融インフラ機能の健全性と安全性を確保します。

【当事者意識を持った行動】

社員一人ひとりが「当社を変える」という強い信念と責任感のもと、コンプライアンス憲章をすべての行動の判断基準として、日々の業務に取組んでまいります。



「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況④

2. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまの利益が不当に害されることのないよう利益相反管理の方針に沿って、適正に業務を遂行しております。
- (2) お客さまにご提供する金融商品・サービスは、複数の生命保険会社や運用会社の商品の中からわかりやすさ、リスク、運用実績、お客さまにご負担いただく費用等を比較検討し、選定しております。
生命保険会社：12社、取扱商品数：29（うち外貨建一時払商品：6社、10商品）
運用会社：25社、取扱ファンド数：181
※2026年3月末時点（販売中の会社数・商品数。確定拠出年金を除く）
※セゾン投信株式会社は、当社資本業務提携先（株式会社クレディセゾン）のグループ関係会社（資本関係先）にあたります。
関係会社であることを理由に、他商品より同社の商品をお客さまに特にお勧めする等の営業行為は行っておりません。
また、同社商品の募集・販売が、当社営業職員に対する業績評価上、他の商品より高く評価されることはありません。
- (3) 定期的に商品選定会議を開催し、お客さまの声や外部の評価等も参考にしながら、商品の拡充や見直しを行っております。
2025年度においては、生命保険で6商品（生命保険会社4社）を新たにラインナップに追加しました。
なお、長期保有を前提とする外貨建一時払保険においては、お客さまの最善の利益を追求する観点から、ターゲット型の商品を取り扱っておりません。

●生命保険新規導入商品（保障性商品含む）

保険商品	保険会社	保険種類	外貨建一時払商品
悠々時間アドバンス2	ニッセイ・ウェルス生命保険	定額年金保険	○
ロングドリームNEXT	ニッセイ・ウェルス生命保険	一時払終身保険	○
プレミアパートナー	第一フロンティア生命保険	定額年金保険	○
プレミアカレンシー3ベーシック	第一フロンティア生命保険	定額年金保険	○
あしたも充実2	三井住友海上プライマリー生命保険	定額年金保険	
死亡・介護障害選択型収入保障保険 (A型：収入保障Wセレクト / B型：総合収入保障Wセレクト)	三井住友海上あいおい生命保険株式会社	定期保険	

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑤

3. 手数料等の明確化

お客さまにご負担いただく手数料その他費用詳細は、投資信託においては重要情報シート（個別商品編）、目論見書及び目論見書補完書面、外貨建一時払保険においては重要情報シート（個別商品編）、商品概要書を活用し、どのようなサービスの対価であるかを含め、お客さまにご理解いただけるよう、丁寧に説明しております。例えば投資信託の場合、同一の商品であっても、店頭・インターネット等チャネル別に申込手数料等が異なるときは、それぞれの手数料等を重要情報シート（個別商品編）及び目論見書補完書面に明記しております。

●重要情報シート （金融事業者編）

スルガ銀行

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
「重要情報シート」(金融事業者編)

1 当社の基本情報 (当社は投資性金融商品の販売(または販売仲介)をする者です)

名称	スルガ銀行株式会社
代表取締役	取締役会長(代表) 佐藤 隆
本店	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
本店の電話番号	03-5561-1111
本店の電報掛番	03-5561-1111
本店のFAX番号	03-5561-1111
本店のEメール	info@sulga.co.jp

2 取扱商品 (当社がお客様に提供できる金融商品の種類及びその内容です)

商品名	商品説明	商品コード
定期預金	定期預金(普通)	001
活期預金	活期預金(普通)	002
外貨預金	外貨預金(普通)	003
外貨定期預金	外貨定期預金(普通)	004
外貨活期預金	外貨活期預金(普通)	005
外貨定期預金	外貨定期預金(特約)	006
外貨活期預金	外貨活期預金(特約)	007
外貨定期預金	外貨定期預金(特約)	008
外貨活期預金	外貨活期預金(特約)	009
外貨定期預金	外貨定期預金(特約)	010
外貨活期預金	外貨活期預金(特約)	011

3 商品ラインナップの考え方 (商品ラインナップの考え方及びその内容です)

4 店舗・相談窓口

店舗名	店舗住所	店舗電話番号
本店	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	03-5561-1111
支店	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	03-5561-1111
支店	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	03-5561-1111
支店	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	03-5561-1111
支店	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	03-5561-1111

●投資信託 重要情報シート （個別商品編）

スルガ銀行

投資信託重要情報シート

商品名: 日本債券投資信託

1 商品概要

2 投資目的・投資方針

3 投資対象資産

4 投資リスク

5 投資手数料

6 投資利益

7 投資リスク

8 投資利益

9 投資リスク

10 投資利益

11 投資リスク

12 投資利益

13 投資リスク

14 投資利益

15 投資リスク

16 投資利益

17 投資リスク

18 投資利益

19 投資リスク

20 投資利益

21 投資リスク

22 投資利益

23 投資リスク

24 投資利益

25 投資リスク

26 投資利益

27 投資リスク

28 投資利益

29 投資リスク

30 投資利益

31 投資リスク

32 投資利益

33 投資リスク

34 投資利益

35 投資リスク

36 投資利益

37 投資リスク

38 投資利益

39 投資リスク

40 投資利益

41 投資リスク

42 投資利益

43 投資リスク

44 投資利益

45 投資リスク

46 投資利益

47 投資リスク

48 投資利益

49 投資リスク

50 投資利益

51 投資リスク

52 投資利益

53 投資リスク

54 投資利益

55 投資リスク

56 投資利益

57 投資リスク

58 投資利益

59 投資リスク

60 投資利益

61 投資リスク

62 投資利益

63 投資リスク

64 投資利益

65 投資リスク

66 投資利益

67 投資リスク

68 投資利益

69 投資リスク

70 投資利益

71 投資リスク

72 投資利益

73 投資リスク

74 投資利益

75 投資リスク

76 投資利益

77 投資リスク

78 投資利益

79 投資リスク

80 投資利益

81 投資リスク

82 投資利益

83 投資リスク

84 投資利益

85 投資リスク

86 投資利益

87 投資リスク

88 投資利益

89 投資リスク

90 投資利益

91 投資リスク

92 投資利益

93 投資リスク

94 投資利益

95 投資リスク

96 投資利益

97 投資リスク

98 投資利益

99 投資リスク

100 投資利益

●生命保険 重要情報シート （個別商品編）

スルガ銀行

生命保険重要情報シート

商品名: 日本生命保険

1 商品概要

2 投資目的・投資方針

3 投資対象資産

4 投資リスク

5 投資手数料

6 投資利益

7 投資リスク

8 投資利益

9 投資リスク

10 投資利益

11 投資リスク

12 投資利益

13 投資リスク

14 投資利益

15 投資リスク

16 投資利益

17 投資リスク

18 投資利益

19 投資リスク

20 投資利益

21 投資リスク

22 投資利益

23 投資リスク

24 投資利益

25 投資リスク

26 投資利益

27 投資リスク

28 投資利益

29 投資リスク

30 投資利益

31 投資リスク

32 投資利益

33 投資リスク

34 投資利益

35 投資リスク

36 投資利益

37 投資リスク

38 投資利益

39 投資リスク

40 投資利益

41 投資リスク

42 投資利益

43 投資リスク

44 投資利益

45 投資リスク

46 投資利益

47 投資リスク

48 投資利益

49 投資リスク

50 投資利益

51 投資リスク

52 投資利益

53 投資リスク

54 投資利益

55 投資リスク

56 投資利益

57 投資リスク

58 投資利益

59 投資リスク

60 投資利益

61 投資リスク

62 投資利益

63 投資リスク

64 投資利益

65 投資リスク

66 投資利益

67 投資リスク

68 投資利益

69 投資リスク

70 投資利益

71 投資リスク

72 投資利益

73 投資リスク

74 投資利益

75 投資リスク

76 投資利益

77 投資リスク

78 投資利益

79 投資リスク

80 投資利益

81 投資リスク

82 投資利益

83 投資リスク

84 投資利益

85 投資リスク

86 投資利益

87 投資リスク

88 投資利益

89 投資リスク

90 投資利益

91 投資リスク

92 投資利益

93 投資リスク

94 投資利益

95 投資リスク

96 投資利益

97 投資リスク

98 投資利益

99 投資リスク

100 投資利益

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑥

4. 重要な情報の分かりやすいご提供

- (1) お客さまに金融商品の販売・推奨を行う前に、「重要情報シート（金融事業者編）」にて、当社の基本情報、取扱商品、商品ラインナップの考え方をご説明しております。
- (2) お客さまに金融商品の販売・推奨を行う際は、「ご意向把握アンケート」や「お客さまご確認シート」等にてお客さまのご意向と推奨理由の適合性を確認したうえで、以下の重要な情報について丁寧にご説明しております。

- ・投資信託の場合：重要情報シート（個別商品編）、目論見書及び目論見書補完書面等を用いてご説明します。
- ・外貨建一時払保険の場合：重要情報シート（個別商品編）及び商品概要書等を用いてご説明します。

【ご説明する重要な情報】

- ①商品等の内容（金融商品の名称・種類、運用会社、販売委託元、金融商品の目的・機能、想定する購入層、パッケージ化の有無、クーリング・オフの有無等）
- ②リスクと運用実績 ③費用 ④換金・解約の条件 ⑤当社の利益とお客さまの利益が反する可能性 ⑥租税の概要

- (3) 当社投資信託専用サイト「ノーロード投資信託の達人」において、市場情報、運用会社からのファンドレポート等の情報や多様な機能をご提供することで、お客さまの最適な商品選びをサポートしております。

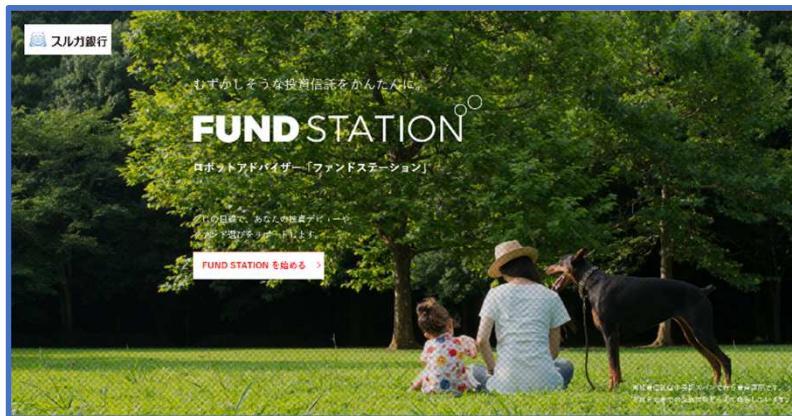
<主なサービス内容>

- ・お客さまが各ファンドのリスクの大小を把握できるようにリスクメジャー（5段階）をご提示し、同一のリスクメジャーでのファンド比較ができるよう情報提供しております。
- ・投資対象資産を8つのカテゴリーに分類したうえで、当社が選定したファンドを「ファンドセレクション～当社が注目するファンド～」として情報提供しております。
- ・ファンド選びのアドバイスツール「FUND STATION」、つみたて・分配金等のシミュレーションツール、ファンド条件検索やお気に入りファンド登録ツール等の各種ツールもご提供しております。
- ・2025年度は、各運用会社のバナーを新設し、各運用会社のタイムリーなマーケット展望を確認いただけるようにホームページをリニューアルしております。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑦

- (4) 取引経験が少ない初心者のお客さまに対しては、初心者向け資料も活用し、ご理解いただけるよう分かりやすいご説明に努めております。
- (5) 投資信託を保有しているお客さま向けに、マーケットが大きく変動した際には、当社投資信託専用サイト「ノーロード投資信託の達人」の「お知らせ」内にマーケットの下落に対する運用会社のコメントを掲載する等、速やかな情報提供に努めております。
- (6) 複数の商品・サービスをパッケージとしてご提案・販売する際には、「重要情報シート（個別商品編）」等を用いて、パッケージ化の有無や個別に購入することができるかどうかをご提示するとともに、各種手数料や商品の仕組み等の重要な情報について、お客さまに丁寧にご説明しております。

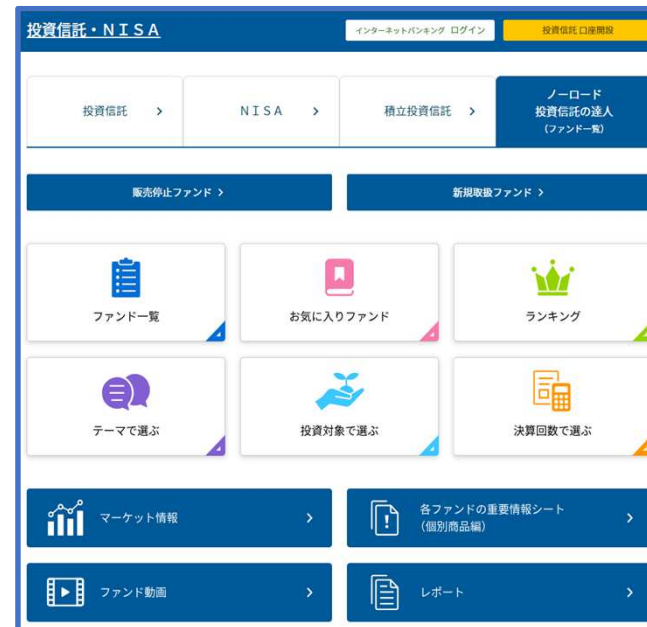
●FUND STATION



●ファンドセレクション



●ノーロード投資信託の達人ページ



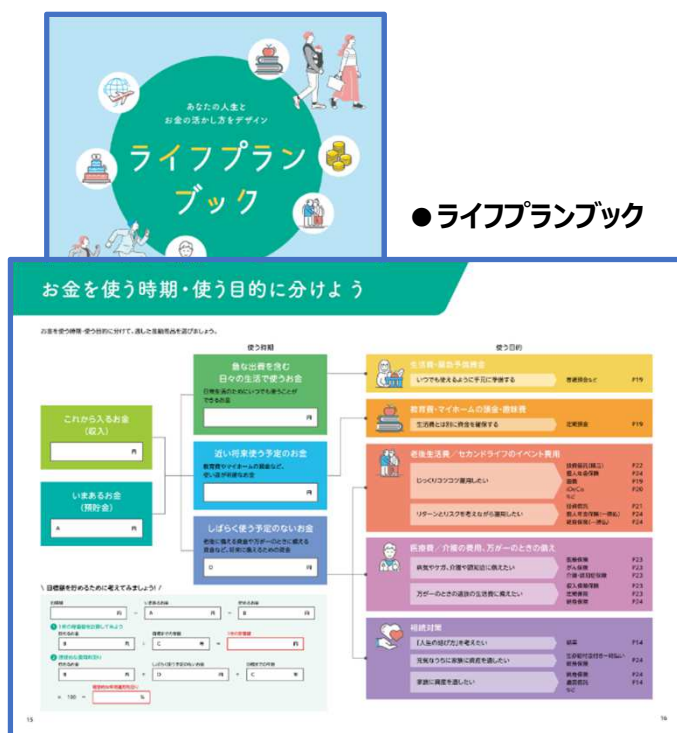
「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑧

5. お客様にふさわしいサービスのご提供

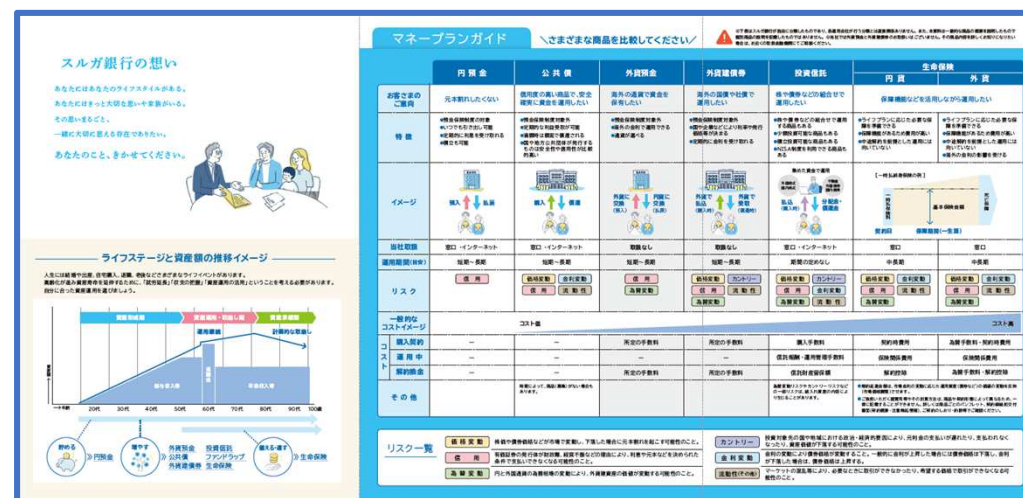
- (1) お客様が「お金を使う時期」と「使う目的」に応じて、お客様に最適な商品・サービスをお選びいただけるよう、預金、生命保険、投資信託、相続関連サービス等、幅広い商品ラインナップを取り揃えております。

2025年度より、各業法の枠を超えて横断的に金融商品・サービスを比較説明できるよう、新たに『マネープランガイド（金融商品情報比較表）』を追加した『重要情報シート（金融事業者編）』を導入いたしました。

これにより、類似商品や代替商品の内容・各種手数料等をより分かりやすく比較検討いただき、お客さまにとって最適な商品をご選択いただける環境を整備しております。また、取扱商品は、総合パンフレット「ライフプランブック」で比較検討していただけます。



●マネープランガイド



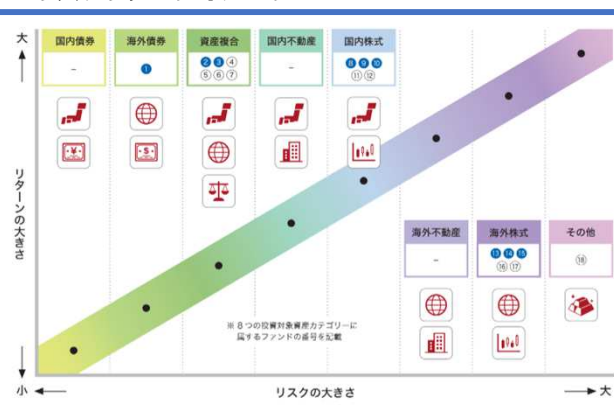
「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑨

- (2) お客さまの「多くのファンドの中からどの商品を選択すればよいかわからない」という課題解決を目的として、当社が厳選した「ファンドセレクション～当社が注目するファンド～」をご用意しております。このファンドセレクションは、NISAの対象ファンドを基本とし、投資対象資産を8つのカテゴリーに分類し、定期的にカテゴリーごとに定量及び定性の両面から総合評価して、選定しております。
- (3) 2025年度は、預かり資産（投資信託・生命保険・公共債）のお手続をタブレット端末で一元的に行えるナビゲーションシステム「COMPASS」を導入いたしました。書類記入等のご負担を軽減するペーパーレス化に加え、お客さまの年齢、取引目的・経験、知識、資産状況等の的確な把握に努めております。これらに基づき、お選びいただいた商品がお客さまに適しているか、ならびに商品組成会社の想定顧客に適合しているかをシステムで自動確認することで、安心で質の高いご提案を行っております。
なお、満70歳以上のお客さまに対しては、複数回の面談やご家族の同席をお願いする等、より適切にご理解やご判断をしていただける環境をご提供したうえで、ご提案・販売を行っております。
- (4) インターネットバンキングで投資信託を購入する場合、投資目的や投資スタンス等から、適合性の原則に照らし、リスクに慎重なお客さまが、誤ってリスクの高いファンドを購入することがないように、お客さまにふさわしい商品群からご選択いただける仕組みを取り入れております。
例えば、お客さまの取引目的・ニーズが「元本の安全性重視」の場合、リスク分類が「収益性を重視」のファンドはご購入いただけません。

●ファンドセレクション

投資対象 資産カテゴリー	No.	時に 注目	ファンド名	運用会社	NISA投資枠		購入チャネル	
					成長	つみたて	店頭	ネット
海外債券	①	★	たからノーロード 先進国債券	アセットマネジメントOne	○	-	○	○
	②	★	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投資	○	○	○	○
	③	★	ニッセイインデックスバランスファンド(4資産均等型)・輸入・個人手配向け	ニッセイアセットマネジメント	○	○	○	○
	④	★	OCニッセイワールドセレクトファンド(債券重視型)	ニッセイアセットマネジメント	○	-	-	-
	⑤	★	たからノーロード バランス(8資産均等型)	アセットマネジメントOne	○	○	○	○
	⑥	★	OCニッセイワールドセレクトファンド(株式重視型)	ニッセイアセットマネジメント	○	-	-	-
	⑦	★	野村6資産均等型バランス ※独立設定のみ	野村アセットマネジメント	○	○	-	○
国内株式	⑧	★	コモンズ 30 ファンド	コモンズ投資	○	-	○	○
	⑨	★	たからノーロード 日経225	アセットマネジメントOne	○	○	○	○
	⑩	★	年金積立 1 グロース	アモーヴァアセットマネジメント	○	○	○	○
	⑪	★	iFree TOPIXインデックス	大和アセットマネジメント	○	-	-	-
海外株式	⑫	★	日経平均高配当利回り株ファンド	三井UFJアセットマネジメント	○	-	-	-
	⑬	★	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投資	○	○	○	○
	⑭	★	たからノーロード 先進国株式	アセットマネジメントOne	○	○	○	○
	⑮	★	iFree S&P500インデックス	大和アセットマネジメント	○	○	○	○
	⑯	★	楽天・全世界株式インデックス・ファンド	楽天投資信託顧問	○	-	-	-
	⑰	★	インベスコ 世界先進株式オープン・高配へんじなし(10年投資型)	インベスコ・アセット・マネジメント	○	-	-	-
その他	⑱	★	三菱UFJ 金貨ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	○	-	-	-

●リスクリターンイメージ



● Wealth Advisor



「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑩

- (5) お客さまに寄り添い、長期的なリレーションを図るため、資産コンサルティング活動に特化したFA（ファイナンシャルアドバイザー）及びFAC（FAカウンター）を静岡・神奈川エリアの店舗に配置しております。2025年度は、更なる総合提案力向上を目的として、FA及びFACの中から選抜する、「GFA（グランド・ファイナンシャルアドバイザー）認定制度」を新設しました。認定者はより高い専門性を発揮し、エリア全体の提案力向上に努めております。
- (6) FA及びFACの高度かつ専門的な知識向上・維持を目的に、定期的な社内・社外研修を実施しております。2025年度は、さらなる総合提案力と対話スキルの向上を目指し、新たにAIを活用したロールプレイングシステムを導入いたしました。AIを相手にした実践的な面談を繰り返すことで、お客さま一人ひとりにふさわしい、質の高いコンサルティングをご提供できる体制を整えております。
- (7) 金融商品・サービスのご購入後も、お客さまに対して、一定のルールのもと、フォローアップに取り組んでおります。例えば、投資信託、外貨建一時払保険をご購入いただいた満70歳以上のお客さまを対象として、定期的なフォローアップをルール化しております。
- (8) お客さまの金融リテラシー向上を支援するため、ライフプラン設計や金融商品等のセミナーを開催しております。例えば、2025年度は静岡がんセンターの公開講座において、「がんとお金」をテーマに、公的保険制度を踏まえた資金準備に関する講演を行いました。
- (9) 当社では、複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品を導入する場合、パッケージ化することの合理性、手数料等のコスト、商品内容の透明性等をお客さまの立場に立って検討しております。また、複数の金融商品・サービスをパッケージとしてお客さまにご提案する際には、各種手数料や商品の仕組み等をご理解いただくために、より丁寧な情報提供に努めるとともに、商品組成会社が想定する購入層への適合性も確認しております。

「お客さま本位の業務運営」に関する取組状況⑪

6. 社員に対する適切な動機付けの枠組み等

- (1) 資格試験、業務検定、通信講座において、重点取得項目と取得推奨項目を設定し、階層別に必要な内容を明確にすることで、銀行業務に精通した社員の育成を目指しております。特に、AFP/FP2級はアシスタントマネージャー階層までの重点取得項目としております。
- (2) 営業指標（生命保険・投資信託等）に係る定量的評価は、特定の商品・サービスの営業成果によるものではなく、お客さまへの総合提案を目指し、幅広い商品・サービスへの貢献を評価する「バスケット方式」を採用しております。なお、社員の業績評価は、お客さま本位の業務運営・業務プロセス改善・知識スキル向上への取組み等の評価も含めて総合的に評価する体系としております。
- (3) お客さま本位の業務運営の定着を図るため、お客さま本位の業務運営に関する社員専用サイトを構築し、全社員が当社取組方針や取組状況に容易にアクセスし、確認できる環境を整備しております。また、全社員を対象とする定期的な研修を実施しており、2025年度は、動画研修及びeラーニングの実施による効果測定を行うことで、社員のさらなる理解度向上を図りました。
- (4) 社員が行った投資性商品の販売プロセスが、募集ルールを遵守したものとなっていたか検証するため、所属長等が3か月に1回以上自店検査を実施し、管理しております。また、資産コンサルティング業務の所管部署において、投資性商品の販売・勧誘フローが適切に運用されているか、取引が所定のプロセスに則って行われたか、さらには適合性や合理性の観点から不適切な取引はないか等について、月次でモニタリングを実施しております。

7. プロダクトガバナンスに関する対応

当社の取扱商品におけるお客さまの声や販売状況等について、運用会社や生命保険会社と適宜情報共有を行っております。2025年12月末に、組成会社と販売に関するデータ連携を実施しました。今後も継続して適切な情報連携を行ってまいります。また、商品選定・改定の際には、商品コンセプト・特徴、想定する購入層、お客さまニーズ、運用方針等の把握に努めております。

※当社は、金融商品（投資信託・生命保険・債券等）の組成は行っておりません。

参考 投資信託ラインナップ/販売上位銘柄

○投資信託の商品ラインナップ (2026年3月末時点)

	商品数	割合	ノーロード 取扱い	つみたて NISA 取扱い
債券	44	24%	44	0
国内	7	4%	7	0
海外（内外含む）	37	20%	37	0
株式	79	44%	79	26
国内	32	18%	32	12
海外（内外含む）	47	26%	47	14
REIT	19	10%	19	0
国内	6	3%	6	0
海外（内外含む）	13	7%	13	0
資産複合型 他	39	22%	39	12
合計	181		181	38

※ノーロードはインターネットバンキングでの取引に限ります。

○投資信託の販売額上位10銘柄 (2025年4月1日～2026年3月31日)

順位	ファンド名	運用会社	主な 投資対象
1	野村インデックスF・日経225	野村アセットマネジメント	国内株式
2	インベスコ 世界厳選株式(H無)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	海外株式 (内外含む)
3	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	国内株式
4	三菱UFJ純金ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	その他
5	ストックインデックスファンド225	大和アセットマネジメント	国内株式
6	たわらノーロード先進国株式	アセットマネジメントOne	海外株式
7	たわらノーロード日経225	アセットマネジメントOne	国内株式
8	iFreeS&P500インデックス	大和アセットマネジメント	海外株式
9	iFree日経225インデックス	大和アセットマネジメント	国内株式
10	フィデリティ・USリートB(H無)	フィデリティ投信	海外REIT

参考 生命保険ラインナップ/販売上位銘柄

○生命保険の商品ラインナップ (2026年3月末)

保険種類		商品数
資産性	一時払終身保険	7
	定額年金保険	4
	平準払個人年金保険	3
保障性	定期保険	3
	終身保険	3
	疾病医療保険	9
合計		29

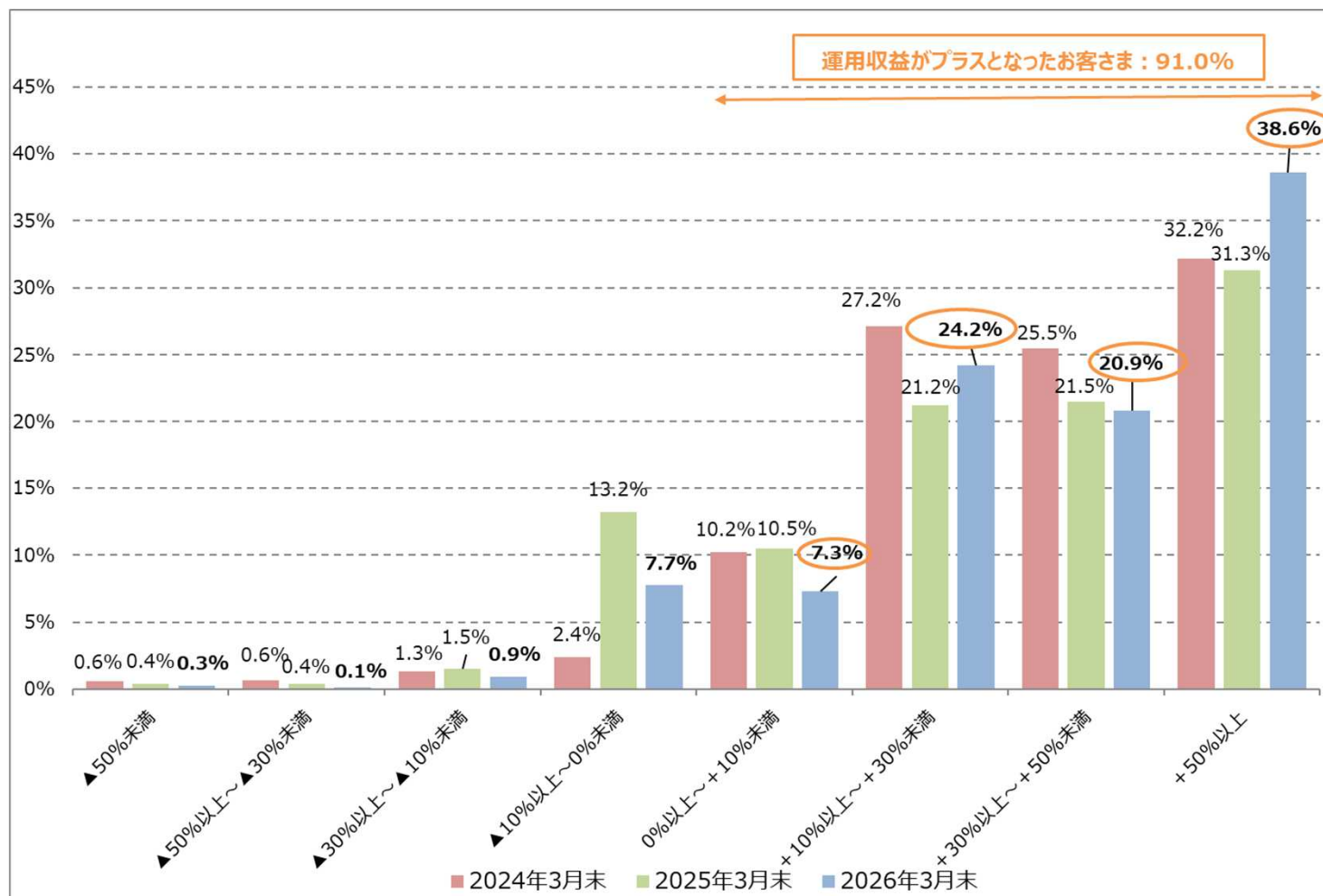
○生命保険の販売額上位 (2025年4月1日～2026年3月31日まで)

順位	商品名	保険会社	保険種類
1	やさしい円ねんきん2	T&Dフィナンシャル生命保険	定額年金保険
2	悠々時間アドバンス2	ニッセイ・ウェルス生命保険	定額年金保険
3	プレミアプレゼント4 プレミアプレゼント5	第一フロンティア生命保険	一時払終身保険
4	やさしさ、つなぐ2	三井住友海上プライマリー生命保険	一時払終身保険
5	生涯プレミアムジャパン5	T&Dフィナンシャル生命保険	一時払終身保険
6	ロングドリームNEXT	ニッセイ・ウェルス生命保険	一時払終身保険
7	プレミアパートナー	第一フロンティア生命保険	定額年金保険
8	プレミアカレンシー3ベーシック	第一フロンティア生命保険	定額年金保険
9	サニーガーデンEX	メットライフ生命保険	一時払終身保険
10	プレミアジャーニー	第一フロンティア生命保険	定額年金保険

※資産性保険商品の販売額上位商品

共通KPI 投資信託の運用損益別お客さま比率

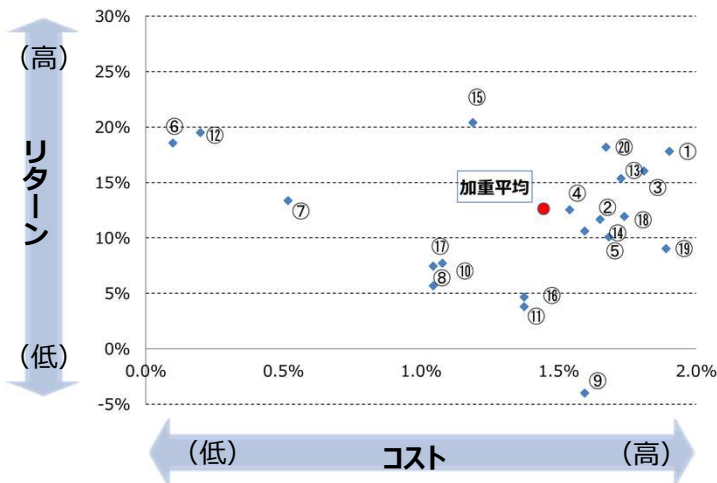
2024年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、95.1%となっております。
 2025年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、84.5%となっております。
 2026年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、91.0%となっております。



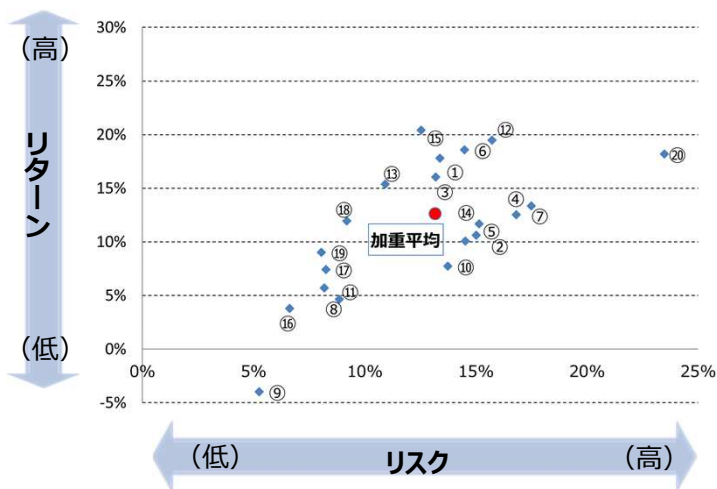
共通KPI 2026年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」

2026年3月末

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン（2026年3月末）



預り残高上位20銘柄のコスト・リターン（2026年3月末）



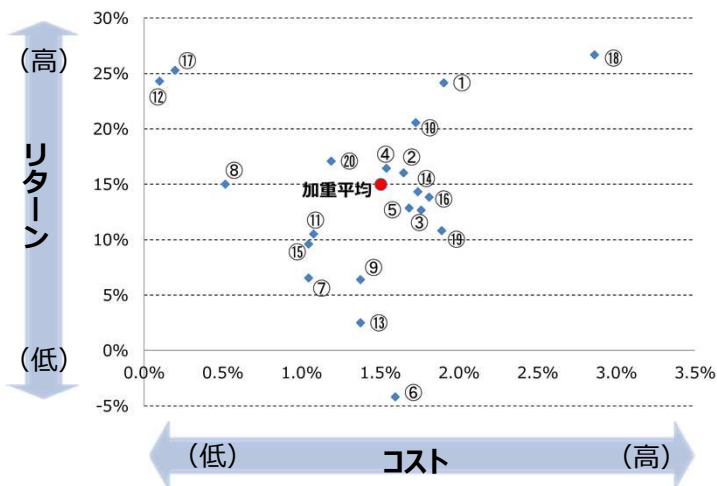
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	インベスコ 世界厳選株式<H無>(毎月決算型)	1.90%	13.38%	17.80%
②	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	1.65%	15.15%	11.66%
③	ビクテ・グローバル・インカム株式(毎月分配型)	1.81%	13.19%	16.04%
④	フィデリティ・USリートB(H無)	1.54%	16.82%	12.54%
⑤	フィデリティ・ジャパン・オープン	1.68%	14.53%	10.09%
⑥	たわらノーロード先進国株式	0.10%	14.50%	18.57%
⑦	ストックインデックスファンド225	0.52%	17.50%	13.37%
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.05%	8.19%	5.69%
⑨	BAM ワールド・ボンド&カレンシーF(毎月)	1.60%	5.26%	-3.98%
⑩	ひふみプラス	1.08%	13.74%	7.72%
⑪	ハイグレード・オセアニア・ボンド(毎月分配)	1.38%	8.85%	4.67%
⑫	iFreeS&P500インデックス	0.20%	15.73%	19.50%
⑬	ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月)	1.73%	10.92%	15.38%
⑭	アジア・オセアニア好配当株(毎月)	1.60%	15.01%	10.61%
⑮	フィデリティ・日本配当成長株F(分配重視型)	1.19%	12.53%	20.41%
⑯	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.38%	6.63%	3.79%
⑰	世界の財産3分法(不動産・債券・株式)毎月	1.05%	8.25%	7.44%
⑱	フィデリティ・USハイ・イールド(毎月)B(H無)	1.74%	9.20%	11.95%
⑲	マイストーリー分配型(年6回)Bコース	1.89%	8.06%	9.04%
⑳	三菱UFJ NASDAQオープンBコース	1.67%	23.49%	18.19%
残高加重平均値		1.45%	13.18%	12.58%

※設定後5年が経過したファンドのうち、2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄

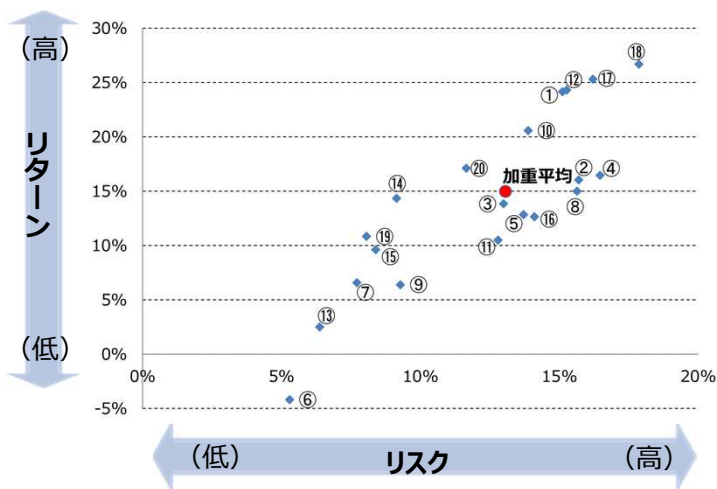
共通KPI 2025年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」

2025年3月末

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン（2025年3月末）



預り残高上位20銘柄のコスト・リターン（2025年3月末）



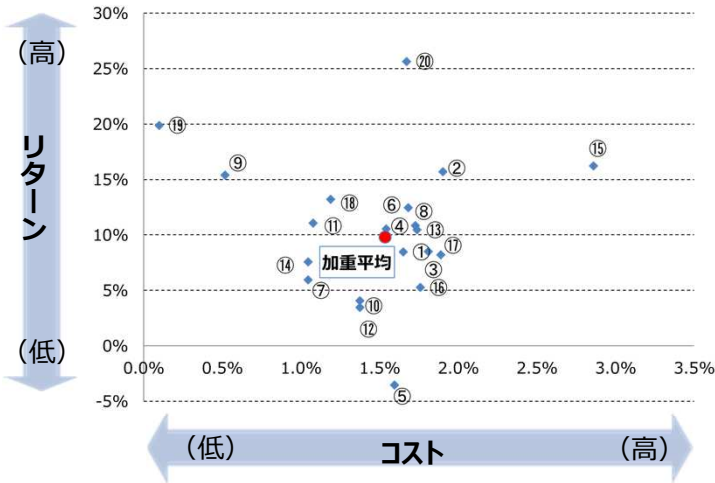
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	インベスコ 世界厳選株式<H無>(毎月決算型)	1.90%	15.12%	24.15%
②	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	1.65%	15.70%	16.04%
③	ビクテ・グローバル・インカム株式(毎月分配型)	1.81%	12.99%	13.82%
④	フィデリティ・USリートB(H無)	1.54%	16.47%	16.45%
⑤	フィデリティ・ジャパン・オープン	1.68%	13.71%	12.85%
⑥	BAM ワールド・ボンド&カレンシーF(毎月)	1.60%	5.29%	-4.19%
⑦	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.05%	7.71%	6.56%
⑧	ストックインデックスファンド225	0.52%	15.64%	15.00%
⑨	ハイグレード・オセアニア・ボンド(毎月分配)	1.38%	9.28%	6.39%
⑩	ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月)	1.73%	13.88%	20.56%
⑪	ひふみプラス	1.08%	12.80%	10.50%
⑫	たわらノーロード先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
⑬	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.38%	6.37%	2.49%
⑭	フィデリティ・USハイ・イールド(毎月)B(H無)	1.74%	9.14%	14.34%
⑮	世界の財産3分法(不動産・債券・株式)毎月	1.05%	8.39%	9.60%
⑯	アジア・オセアニア好配当株(毎月)	1.76%	14.10%	12.65%
⑰	iFreeS&P500インデックス	0.20%	16.21%	25.29%
⑱	HSBC インドオープン	2.86%	17.87%	26.70%
⑲	マイストーリー分配型(年6回)Bコース	1.89%	8.06%	10.82%
⑳	フィデリティ・日本配当成長株F(分配重視型)	1.19%	11.65%	17.09%
残高加重平均値		1.51%	13.07%	14.95%

※設定後5年が経過したファンドのうち、2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄

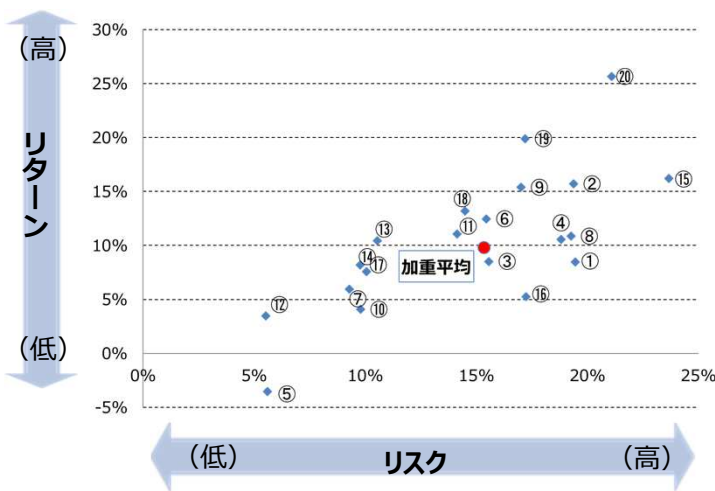
共通KPI 2024年3月末「預り残高上位20銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン」

2024年3月末

預り残高上位20銘柄のコスト・リターン（2024年3月末）



預り残高上位20銘柄のコスト・リターン（2024年3月末）



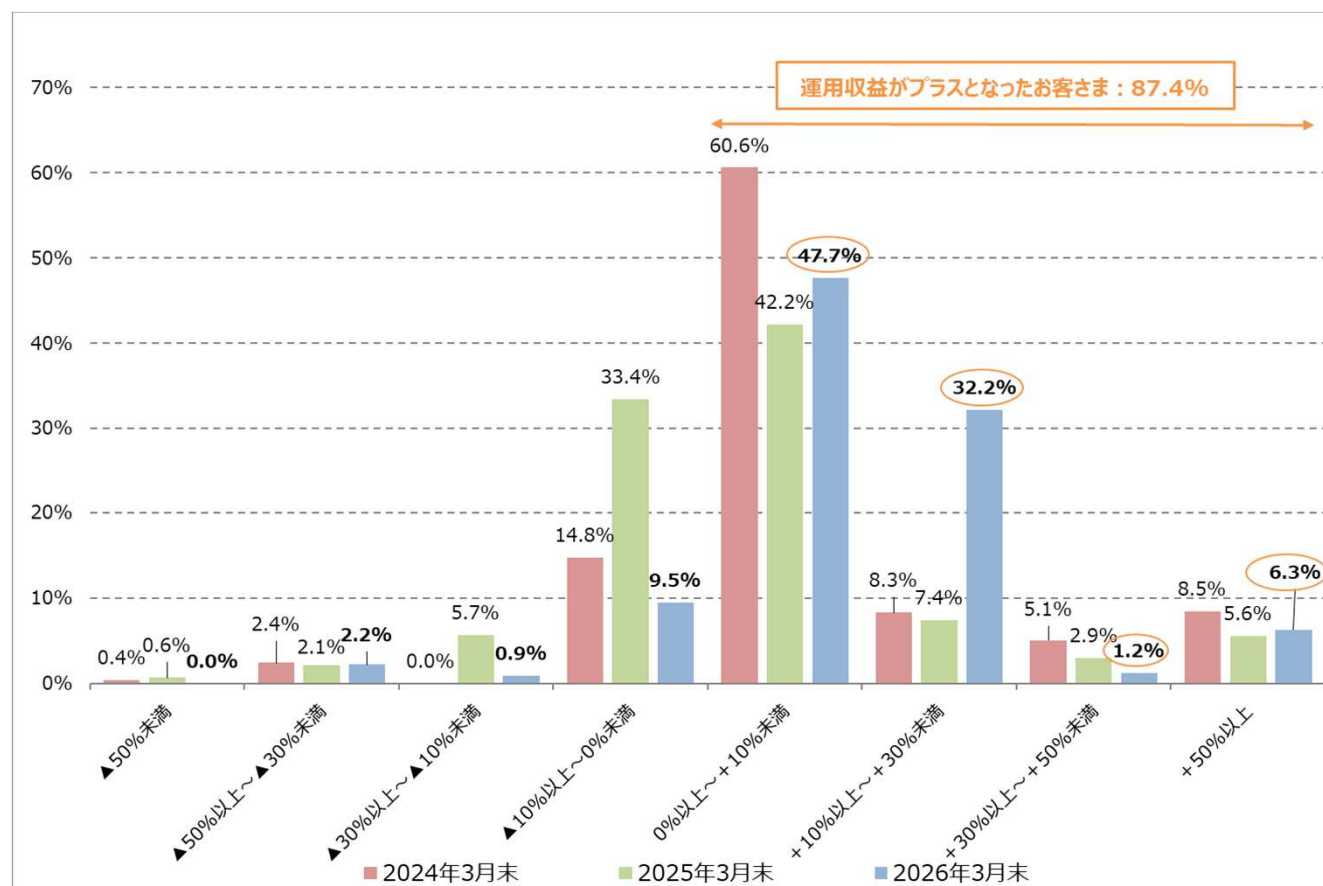
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
①	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	1.65%	19.46%	8.47%
②	インベスコ 世界厳選株式<H無>(毎月決算型)	1.90%	19.39%	15.71%
③	ビクテ・グローバル・インカム株式(毎月分配型)	1.81%	15.57%	8.52%
④	フィデリティ・USリートB(H無)	1.54%	18.82%	10.56%
⑤	BAM ワールド・ボンド&カレンシーF(毎月)	1.60%	5.61%	-3.52%
⑥	フィデリティ・ジャパン・オープン	1.68%	15.46%	12.47%
⑦	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.05%	9.28%	5.94%
⑧	ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月)	1.73%	19.27%	10.86%
⑨	ストックインデックスファンド225	0.52%	17.02%	15.39%
⑩	ハイグレード・オセアニア・ボンド(毎月分配)	1.38%	9.80%	4.08%
⑪	ひふみプラス	1.08%	14.13%	11.06%
⑫	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.38%	5.52%	3.47%
⑬	フィデリティ・USハイ・イールド(毎月)B(H無)	1.74%	10.54%	10.46%
⑭	世界の財産3分法(不動産・債券・株式)毎月	1.05%	10.06%	7.59%
⑮	HSBC インドオープン	2.86%	23.67%	16.23%
⑯	アジア・オセアニア好配当株(毎月)	1.76%	17.24%	5.26%
⑰	マイストーリー分配型(年6回)Bコース	1.89%	9.77%	8.20%
⑱	フィデリティ・日本配当成長株F(分配重視型)	1.19%	14.49%	13.20%
⑲	たわらノーロード先進国株式	0.10%	17.20%	19.90%
⑳	三菱UFJ NASDAQオープンBコース	1.67%	21.10%	25.66%
残高加重平均値		1.54%	15.36%	9.76%

※設定後5年が経過したファンドのうち、2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄

共通KPI 外貨建保険の運用評価別お客さま比率

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

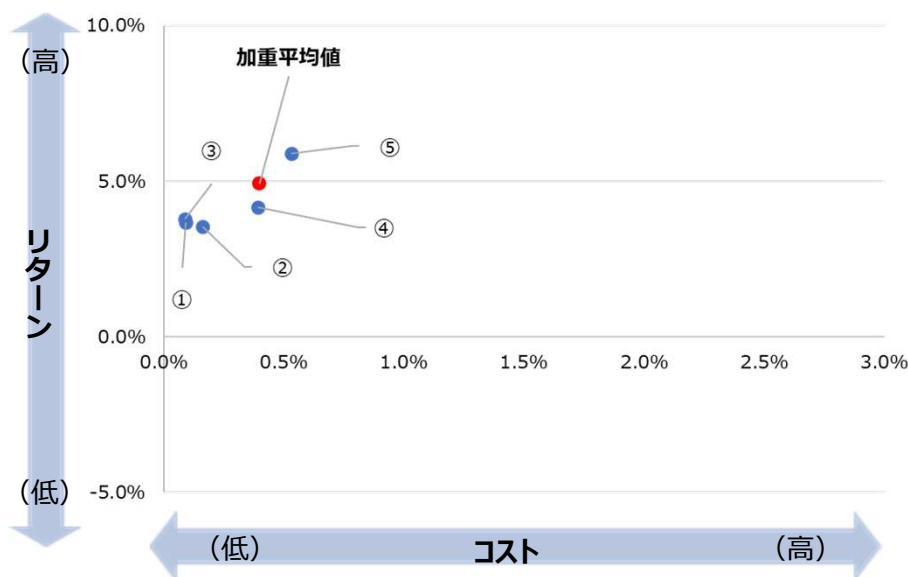
2024年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、82.4%となっております。
 2025年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、58.1%となっております。
 2026年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は、87.4%となっております。



共通KPI 2026年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」

2026年3月末時点において、保険契約開始から60か月以上経過した外貨建一時払保険について、銘柄毎にコストとリターンの加重平均を算出しております。

2026年3月末



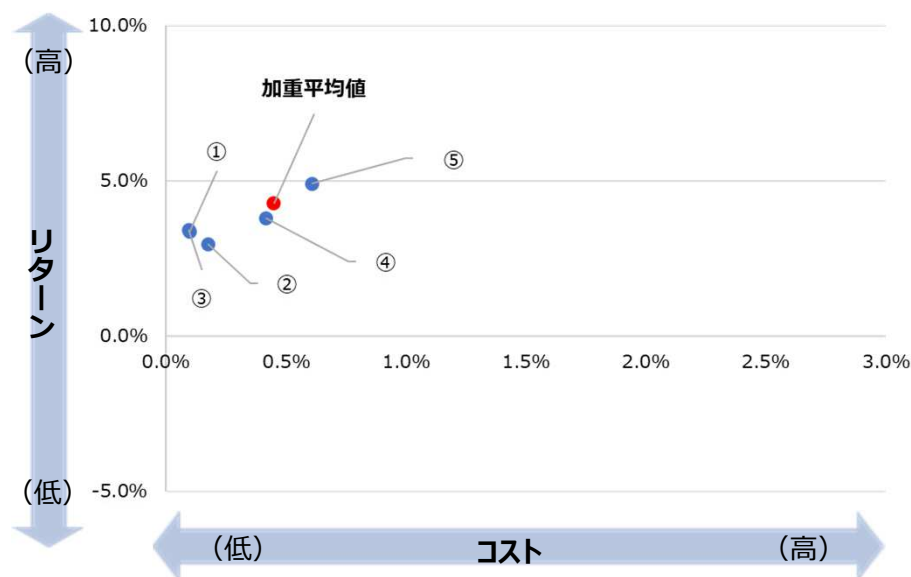
	商品名	コスト	リターン
①	シリウスデュアル	0.09%	3.66%
②	シリウスハーモニー	0.16%	3.55%
③	シリウスプラス	0.09%	3.78%
④	ビーウィズユー (USドル建)	0.39%	4.16%
⑤	三大陸	0.53%	5.87%
残高加重平均値		0.40%	4.92%

- ✓ 個別銘柄のコストは、①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ 個別銘柄のリターンは、①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ コスト及びリターンの全銘柄の加重平均値については、各銘柄の対象となる契約の基準日時点の解約返戻金額 + 同既支払金額の合計で加重平均する。

共通KPI 2025年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」

2025年3月末時点において、保険契約開始から60か月以上経過した外貨建一時払保険について、銘柄毎にコストとリターンの加重平均を算出しております。

2025年3月末



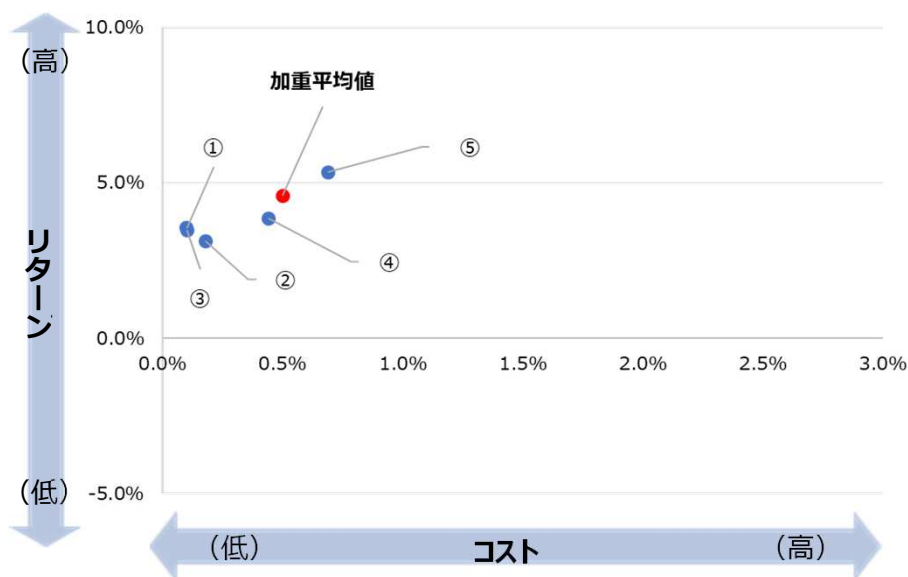
	商品名	コスト	リターン
①	シリウスデュアル	0.10%	3.35%
②	シリウスハーモニー	0.17%	2.95%
③	シリウスプラス	0.09%	3.41%
④	ビーウィズユー (USドル建)	0.41%	3.82%
⑤	三大陸	0.61%	4.90%
残高加重平均値		0.45%	4.26%

- ✓ 個別銘柄のコストは、①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ 個別銘柄のリターンは、①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ コスト及びリターンの全銘柄の加重平均値については、各銘柄の対象となる契約の基準日時点の解約返戻金額 + 同既支払金額の合計で加重平均する。

共通KPI 2024年3月末「外貨建一時払保険の銘柄別コスト・リターン」

2024年3月末時点において、保険契約開始から60か月以上経過した外貨建一時払保険について、銘柄毎にコストとリターンの加重平均を算出しております。

2024年3月末



	商品名	コスト	リターン
①	シリウスデュアル	0.10%	3.54%
②	シリウスハーモニー	0.18%	3.14%
③	シリウスプラス	0.10%	3.49%
④	ビーウィズユー (USD建)	0.44%	3.87%
⑤	三大陸	0.69%	5.35%
残高加重平均値		0.50%	4.58%

- ✓ 個別銘柄のコストは、①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ 個別銘柄のリターンは、①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率に換算し、②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均する。
- ✓ コスト及びリターンの全銘柄の加重平均値については、各銘柄の対象となる契約の基準日時点の解約返戻金額 + 同既支払金額の合計で加重平均する。